

平成 25 (2013) 年度

事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡市中央区荒戸 3-3-39

福岡市市民福祉プラザ内

盲導犬育成事業<公益目的事業1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与頭数

①平成25年度は、盲導犬希望者に6頭の盲導犬を無償貸与した。

- ・代替3頭（福岡県1、佐賀県1、沖縄県1）
- ・新規3頭（福岡県1、熊本県1、大分県1）

②盲導犬貸与数

- ・貸与頭数累計216頭（タンデムを含む貸与者数223名）
- ・平成26年3月末現在の実働盲導犬数45頭（ユーザー数47名）

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与審査に関する規定に基づき、公正な盲導犬貸与を目的に盲導犬委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定および共同訓練に関する審査を実施した。

(3) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ

- ①ユーザーからの年次報告に基づき、盲導犬の健康状態の把握に努め、47名のユーザーに対するフォローアップ75回を実施した。
- ②九州盲導犬協会友の会の総会（7月）、レクリエーション（3月）、全国盲導犬使用者交流会「北海道大会」（6月）等に参加して、その活動を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 候補犬の訓練について

期中40頭の候補犬に対し貸与に向け訓練を行った。

(2) 繁殖について

- ・期中子犬39頭（当協会出産子犬38頭+他協会譲受子犬1頭）を確保した。
- ・平成26年3月末の繁殖犬数は4頭増加し、24頭（雄9頭、雌15頭）を保有。
- ・繁殖犬飼育委託家庭9件に対し、定期訪問57回を実施した。
- ・AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(3) パピーウォーキングについて

- ・期中45頭の子犬を飼育委託した。
- ・期中飼育講習会24回、飼育家庭訪問回数81回を行い、飼育指導に力を注いだ。

(4) 盲導犬の引退について

期中引退頭数9頭、期末の飼育委託頭数は、46頭である。

(5) 犬舎管理について

管理頭数はピーク50頭を超えたが犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

3. 訓練グループ職員のレベルアップについて

- (1) 毎日の業務報告・連絡・相談を通して課題の発見と解決を図ることにより、訓練

技術の向上を図った。

- (2) 全国盲導犬施設連合会主催のセミナーに職員を派遣し、技術及び知識のレベルアップを図った。

4. 行政、各種団体およびボランティア関係各位との関係づくりについて

- (1) 行政当局はじめ関係各位との情報交換・連携を密に行い、盲導犬育成事業の円滑な業務運営に努めた。
- (2) 盲導犬医療特別措置について
福岡県獣医師会をはじめ各地区獣医師会及び各動物病院の協力を受けて、本年度も継続実施することが出来た。
- (3) 繁殖犬・パピー・リタイア犬等ボランティアとの連携に努めた。

普及啓発事業＜公益目的事業2＞

1. 協会創立 30 周年記念事業について

- (1) 30 周年記念事業として「総合訓練センター太陽光発電設備設置事業」を国庫補助金の助成を受けて実施、地球温暖化防止に貢献するとともにクリーンな自然エネルギーの導入と普及を推進した。
- (2) 協会創立 30 周年感謝祭
平成 25 年 9 月に、「感謝祭～ありがとう 30 周年～」を多くのボランティアをはじめ、地元出身アーティスト並びに関係各位の支援と協力のもと、1,000 名を超える来場者を迎えて開催し盲導犬事業の普及啓発を図ることができた。

2. 盲導犬普及啓発街頭活動について

- (1) 盲導犬ユーザー、ボランティア、各地区のライオンズクラブはじめ西日本高速道路サービス等各位の協力を得て、RKB ラジオ祭り、各地で開催された動物愛護祭、九州運輸局と共同でのバリアフリー教室等のイベントに参加し、盲導犬を中心とした補助犬の受入れの理解と普及啓発及び街頭募金活動を行った。
- (2) 小中学校の視覚障害者福祉学習及び福岡視力障害センター等に講師を派遣して、講演、盲導犬体験歩行等を実施し、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

3. 総合訓練センター見学会等について

- (1) 定例見学会を毎月 1 回（感謝祭の 9 月、12 月除く）開催し、年間延べ 327 名が来所した。
- (2) 定例見学会の他、27 団体 736 名に対する団体見学会を実施した。パピー講習会の来所者を含めると、総計 1,700 名の皆様に、施設の紹介及び盲導犬の普及啓発を行うことができた。

4. 広報活動について

- (1) 協会報（ハーネス九州）を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円をもとに、年 2 回（2 月、8 月）各 10,000 部発行し、福岡県、福岡市など関係機関の窓口に配布を行うとともに、ボランティアの皆様の協力を得て広報に努めた。
- (2) ホームページのリニューアルを行い見やすい画面とし、よりタイムリーな情報の発信に努めた。

5. 相談業務について

相談担当職員を中心に行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者、ボランティア、一般市民からの苦情や相談に対応した。

管 理 部 門

1. 定款の変更について

- (1) 定款第 4 条の公益目的事業を行う都道府県の区域を、「九州及びその近郊において行うものとする。」に変更した。
- (2) 上記変更に伴い行政庁が福岡県から内閣府に移行し、平成 26 年 3 月 10 日付けで内閣総理大臣の認定を受けた。

2. 募金箱について

福岡県内郵便局各局の協力等により、平成 26 年 3 月末の設置先は 1,875 である。

3. 賛助会員について

会員増強に努め、前期 343 件から今期末 423 件と 80 件増加することが出来た。

4. ローコスト経営について

職員一人一人にコスト意識を徹底し、経費の削減に努めた。

5. 理事会・評議員会の開催状況について

- (1) 理事会を次のとおり、5 回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 25 年 5 月 15 日	・平成 24 年度事業報告及び財務諸表について ・定時評議員会の開催について ・創立 30 周年感謝祭について
平成 25 年 7 月 8 日	・太陽光発電設備設置事業について
平成 25 年 9 月 9 日	・太陽光発電設備設置事業の実施について ・補正予算について

	・評議員会の開催について
平成 25 年 11 月 19 日	・定款変更について ・評議員会の開催について
平成 26 年 3 月 18 日	・平成 26 年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について

(2) 評議員会を次のとおり、4回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 25 年 6 月 11 日	・平成 24 年度事業報告及び財務諸表について
平成 25 年 9 月 17 日	・太陽光発電設備設置事業の実施について ・補正予算について
平成 25 年 11 月 28 日	・定款変更について
平成 26 年 3 月 27 日	・平成 26 年度事業計画及び収支予算について

6. 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

部 署	職 種	職 員 数	パ ー ト
事 務 局	管 理 ・ 事 務	※3 名	—
総合訓練センター	管 理 ・ 事 務	1 名	1 名
	盲導犬歩行指導員	4 名	—
	訓練士・ケネルスタッフ	4 名	4 名
計		12 名 (前期比 0)	5 名 (前期比 0)

※3 名 (常勤理事 1 名を含む)

7. 施設について

(1) 施設 (総合訓練センター) の場所 ; 福岡県糸島市東 702 番地 1

(2) 敷地面積 ; 4,133.39 m²

(3) 建物

・管理棟 (主な建物)

(構造等) 鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479.11 m²

(主な設備) 事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室 (7 室)

多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、

・犬舎棟

(構造等) 鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²

(主な設備) 繁殖犬舎、第 1 犬舎、第 2 犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室

(4) 太陽光発電設備 ; 太陽電池出力 48.75 k w

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。